

令和3年度 アンケート結果（児童・保護者・職員の比較、分析、対策）

評価項目		4+3の%			分析	対策(案)
		児童 1人0.35%	保護者 1人0.34%	職員 1人3.1%		
1	CSの仕組みの活用、連携・協力による学校運営	94 (93)(93)	97 (99)(96)	100 (100)(100)	【経営】 ・学習環境については、概ね良好と言える。 ・コロナ禍の下、授業参観や運動会等工夫した取り組みがなされている。また、通信やホームページ等での情報発信がなされている。 ・昨年度に比べ、情報発信、学習環境の整備に努めていると感じている。 ・職員・保護者のデータに比べ、児童のデータがやや低いが増加傾向にある。	・来年度もUD化も含め、教室や廊下の掲示について整備するよう、学習指導部で検討し、方向付ける。 ・コロナ禍の下、ICT機器の活用等、今後も工夫した活動の在り方を考える。
2	授業参観・通信・HPによる情報発信	96 (91)(86)	95 (98)(98)	100 (100)(100)		
3	教室の整理整頓・掲示の工夫による学習環境の整備	95 (91)(94)	98 (98)(99)	97 (100)(100)		
4	廊下の掲示の活用による学習環境の整備	93 (90)(89)	97 (96)(95)	97 (100)(100)		
5	運動場や教室、廊下など、安全な環境の整備	90 (91)(89)	97 (97)(97)	97 (100)(96)		
6	掃除や当番活動の遂行	95 (93)(93)	97 (98)(97)	97 (97)(84)	【指導】 ・項目6については、職員の評価は97%と高いように思えるが、4の評価は、21%、3の評価は76%となっている。掃除や係の仕事など、やりきられていない部分を感じられる。 ・見守り隊による登下校、命を守る訓練など、安心安全な生活の意識は高い。 ・項目9について、全体的に高いように思えるが、職員は、評価4が10%、評価3が84%であり、聞くことに多少の課題が残る。 ・項目10について、児童の評価は、年々微減の傾向にあり、自分の考えを発表したり、話し合ったりすることに課題が残る。 ・項目12について、デジタル教科書、タブレットの活用がなされているといえる。 ・項目13について、職員の評価は高い。それに比べ、保護者が低いのは、授業公開の機会が少なく評価しづらいという意見もいただいている。 ・項目14、15、16、17について、全体的に児童、保護者、職員とも評価が上がっている。一昨年よりいじめ対策監が位置づき、生徒指導主事との連携で迅速に対応している成果である。また、職員の共通理解、共通行動のもと、連携が図られてきている成果といえる。	・掃除や当番活動について、行うべき内容や手順を明確にし、見届け、価値づけを確実に行う。 ・学びあいは、聴き合いから始まる。求める「聞く」姿勢とは何かを明確にし、身に付けられるよう繰り返し指導を継続する。 ・全体交流やグループ学習・ペア学習などを位置づけるなど、意図的に発表や話し合いの機会・場を設定するとともに、教師等による価値付けを行う。 ・今後もあいさつやほかほか言葉の取組を行い、あたたかい人間関係を醸成していく。 ・いじめについては、今後もいじめ対策監を中心に校長マターで指導を継続する。
7	「命を守る訓練」による安全・安心な生活の意識化	97 (97)(99)	97 (98)(98)	97 (100)(91)		
8	見守り隊による安全な登下校の確保	96 (96)(93)	98 (99)(98)	100 (100)(100)		
9	仲間や先生の話最後まで聞く	93 (92)(89)	91 (88)(93)	94 (94)(92)		
10	進んで自分の考えを発表したり、話し合っている	77 (79)(80)	83 (83)(87)	94 (93)(88)		
11	授業の内容が分かりやすい	94 (93)(93)	91 (89)(92)	97 (100)(93)		
12	ICTを活用した授業を工夫している	95 (96)(-)	91 (93)(-)	97 (100)(-)		
13	英語の授業は楽しい	92 (-)(-)	89 (-)(-)	100 (-)(-)		
14	あいさつ、ほかほか言葉等で仲間を大切にしている	95 (96)(94)	96 (94)(94)	100 (96)(84)		
15	きまりやマナーを守っている	93 (93)(95)	94 (90)(92)	100 (100)(96)		
16	いじめを許さず、誰とでも仲良くしている	95 (95)(92)	95 (93)(93)	100 (100)(100)		
17	職員は、学級づくりに熱心に取り組んでいる	94 (92)(94)	99 (95)(97)	100 (100)(100)	【研修】 ・項目17、18について、職員の意識は高い。また、保護者の評価が昨年よりも上がっている。児童や保護者の一部の評価が低いが、全体的に教師の思いを受けとめている。 ・項目19について、保護者の意識の増加が見られる。	・今後も自己肯定感・自己有用感を高められるように、実践を積み重ねていく。
18	職員は、価値付けや励ましをしている	95 (92)(92)	98 (95)(94)	97 (100)(100)		
19	家庭は、理解し、励ましている	93 (91)(91)	97 (94)(96)	100 (100)(94)		

緑色は3%増 黄色は5%以上減